

東木ひさよ ニコニコ通信第 10 号

(2013 年秋 議会報告)

8/28～10/10 藤沢市定例9月議会が開催されました。一般質問の内容と最近の実績についてご報告させていただきます。



9/17 8 回目の一般質問。初めてパネルを使用して、新しい施策の重要性を訴えました。



<すべての世代が輝くふじさわのまち>

「2030 年へ アクティブシニアが輝くふじさわづくり」

今回の一般質問は超高齢社会のシニア世代の支援について取り上げました。一昨年 12 月議会の「人生 90 年時代のセカンドライフ支援」に続き二度目のチャレンジです。高齢者支援と言うと医療・介護等が中心、もちろんこれらは最重要で更なる充実を図るべきです。

しかし 65 歳以上の 9 割、75 歳以上の 7 割がアクティブでお元気な方々です。「人生 100 年」とも言われる時代、いつまでもお元気で活躍できるよう、「健康寿命の延伸」や、またその潜在的パワーをまちづくりに活かしていく、新しい視点が大切と考え、意見提案しました。

具体的な提案（一部分）↓↓↓↓

ロコモティブ症候群・認知症予防の取り組み

- ① ウォーキングや体操等、手軽にできる健康施策 ② フィットネスクラブの活用支援
- ③ 健康生活カレンダーの作成 ④ いきいきシニアセンターのミニマルシェ開催拡大

“生きがい” “仲間” “居場所” 等、社会参加促進

- ① ボランティア等の市民活動、② 公民館や大学での講座の充実

高い就労意欲に応える就労支援の充実

- ① コミュニティビジネスや起業の支援 ② 有償の援農ワーキング等

生涯現役支援のための総合的な取り組みと情報発信

- ① アクティブシニア向けのハンドブックやポータルサイトの作成

市長より「シニア世代の方々は、地域を支えるパートナー、若い世代の負担軽減のうえでも大切な施策」との認識が示され、前向きな回答を得ました。現在から未来へ「超高齢未来」の課題克服へ市の総合力で取り組んでいくよう今後も訴えて参ります。

<安全・安心のまちづくり>

「女性・家庭の視点の防災対策」

阪神大震災の時、家財道具が命を脅かす凶器になったそう。我が家が「一番安全なシェルター」になるよう、玄関周辺の整理、家財道具を固定すること。また、「我が家の防災マニュアル」を作ること、(※藤沢防災ナビ「みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編」が来年3月配布予定) また、幼いお子さん向けに、「防災ピクニック」や「防災ごっこ」等遊びながら災害時のシュミレーションをしておくと、いざという時、ストレスを低減させます。災害伝言ダイヤルのお試しも大切です。こうした各家庭でルールを確認したり、防災意識を啓発するため『家庭防災の日』の設定を提案しました。



「帰宅困難者対策」

「もしも通勤通学時や外出中に震災が起こったら…」震度7強の災害時、市内で約4万人の帰宅困難者が発生すると想定しています。7月に鉄道事業者、警察、商業施設、ホテル等の参画を得て、「藤沢駅周辺帰宅困難者対策協議会」が発足。今後、辻堂・湘南台等の主要駅に順次設置の予定で、地域ごとに対応協議します。いざという時、家族がどこにいるかわからないのは不安が大きいです。帰宅途中は「むやみに移動しない」という基本原則とともに、一時滞在施設の確保、水や食料などの備蓄等、帰宅困難時の対策を早期に確立し、周知徹底を要望しました。

お知らせその1 <中学校給食の試行実施が決定！>



訴え続けてきた中学校給食が実現に向けて一歩前進。H26年10月より、市内の湘南台中学校と善行中学校**2校で中学校給食の試行実施が始まります！**配膳室の整備と配送の利便性を考慮して2校選定されたもの。早期に35校全校実施できるよう、さらに訴えて参ります。

お知らせその2 <通学路の安全対策が一歩前進！>

朝の通学時は車やバイクが猛スピードで走行し、危険そのもの。全国でも事故が起こって心配です。保護者・学校ボラティアの方々から要請を受けて実現したものです。



- ←天神小学校・秋本橋付近の小道
- ←ハイスピードで侵入してくる車・バイク対策で
- ←左側の水路を埋めて歩道を設置しました。

- 秋葉台小学校・菖蒲沢のマンション前→
- 「横断歩道」が1年半がかりでようやく設置。
- (近くに横断歩道があり困難でしたが、警察
- や関係機関に粘り強く働きかけたもの)

